【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第３区分
【発行日】平成19年1月18日(2007.1.18)

【公開番号】特開2001-179549(P2001-179549A)
【公開日】平成13年7月3日(2001.7.3)
【出願番号】特願平11-366502
【国際特許分類】
Ｂ２３Ｐ　19/02　(2006.01)
Ｂ２３Ｃ　 3/12　(2006.01)
Ｇ０３Ｇ　15/09　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ２３Ｐ　19/02　Ｂ
Ｂ２３Ｃ　 3/12　Ｃ
Ｇ０３Ｇ　15/09　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成18年11月24日(2006.11.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　パイプ材に圧入嵌合される端部の周縁に、隣り合うもの同士の面取り角が互いに異なる複数の面取り部が軸線方向に多段に形成された圧入嵌合部材であって、
前記各面取り部のうち最も基端側の面取り部において、その面取り高さｈと面取り幅ｗの比ｗ／ｈが０．３以下、かつ面取り幅ｗが０．１５ｍｍ以上に形成されると共に、最も先端側の面取り部において、その面取り角が前記基端側の面取り部の面取り角より大きい角度に形成されていることを特徴とする圧入嵌合部材。
【請求項２】　前記面取り部が２段である請求項１に記載の圧入嵌合部材。
【請求項３】　請求項１または２に記載の圧入嵌合部材が、前記面取り部が形成された端部をパイプ材の内部に圧入嵌合されてなることを特徴とするパイプ製品。
【請求項４】　前記パイプ材の肉厚と外径は、肉厚／直径≦０．１の関係を有している請求項３に記載のパイプ製品。
【請求項５】　前記圧入嵌合部材は、前記パイプ材と同等以上の硬度を有している請求項３または４に記載のパイプ製品。
【請求項６】　前記圧入嵌合部材の表面粗さがＲａ０．２～０．８である請求項５に記載のパイプ製品。